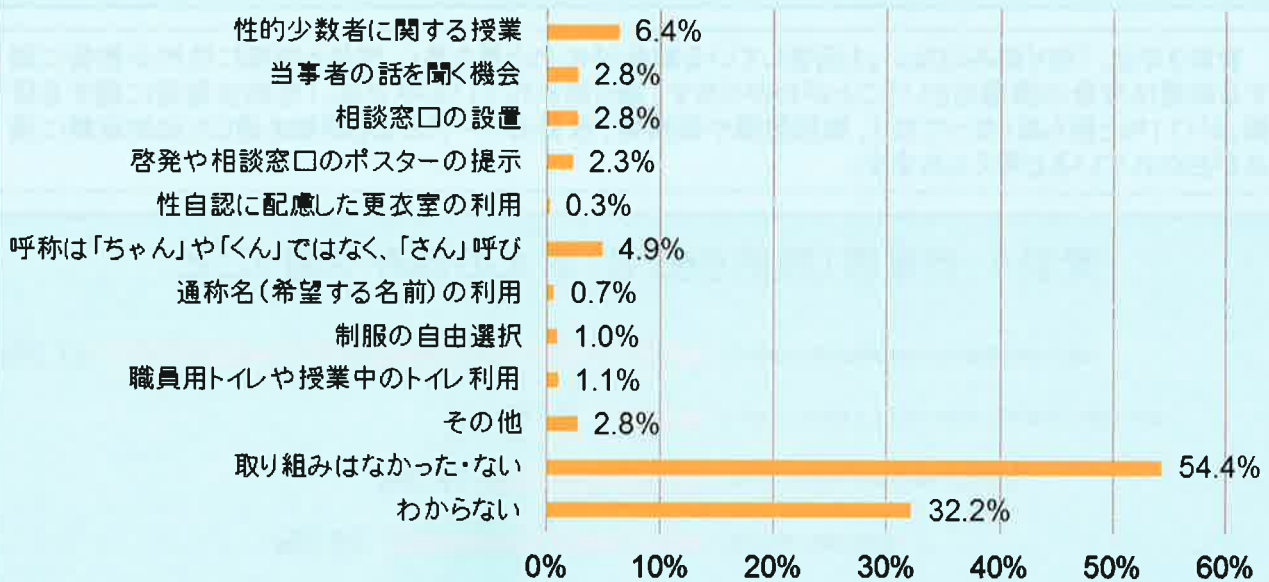




「性的少数者に関するアンケート結果」から

県では、長崎県内における性的少数者の方を取り巻く課題や実態を把握し、今後の施策を推進していくうえでの基礎資料とするため、長崎県内に居住している方または居住経験のある方を対象に「性的少数者に関するアンケート」を行いました。
 本号では、調査結果から見えてきた課題について考えていきます。

資料1：県内学校での性的少数者に関する取り組み状況



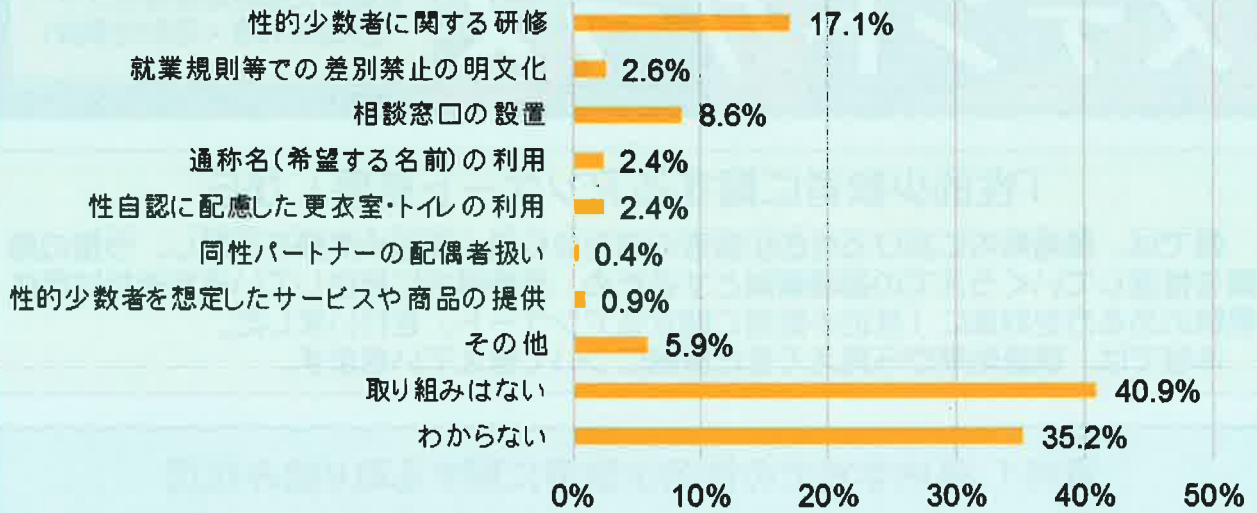
資料2：年代別に見た「取り組みはなかった／ない」と回答した割合 (%)

	10代	20代	30代	40代	50代
取り組みはなかった・ない	25.5	41.1	71.2	74.4	80.8
性的少数者に関する授業	10.9	10.9	2.7	0.0	1.3

資料1では、「取り組みはなかった・ない」と回答している割合が54.4%と最も高く、学校における性的少数者に関する取組は今後の課題だということがわかります。取り組まれている中で多いのは、「性的少数者に関する授業」(6.4%)と「呼称は『ちゃん』や『くん』ではなく、『さん』呼び」(4.9%)ですが、いずれも低い割合になっており、今後、学校における取組を進めていく必要があります。

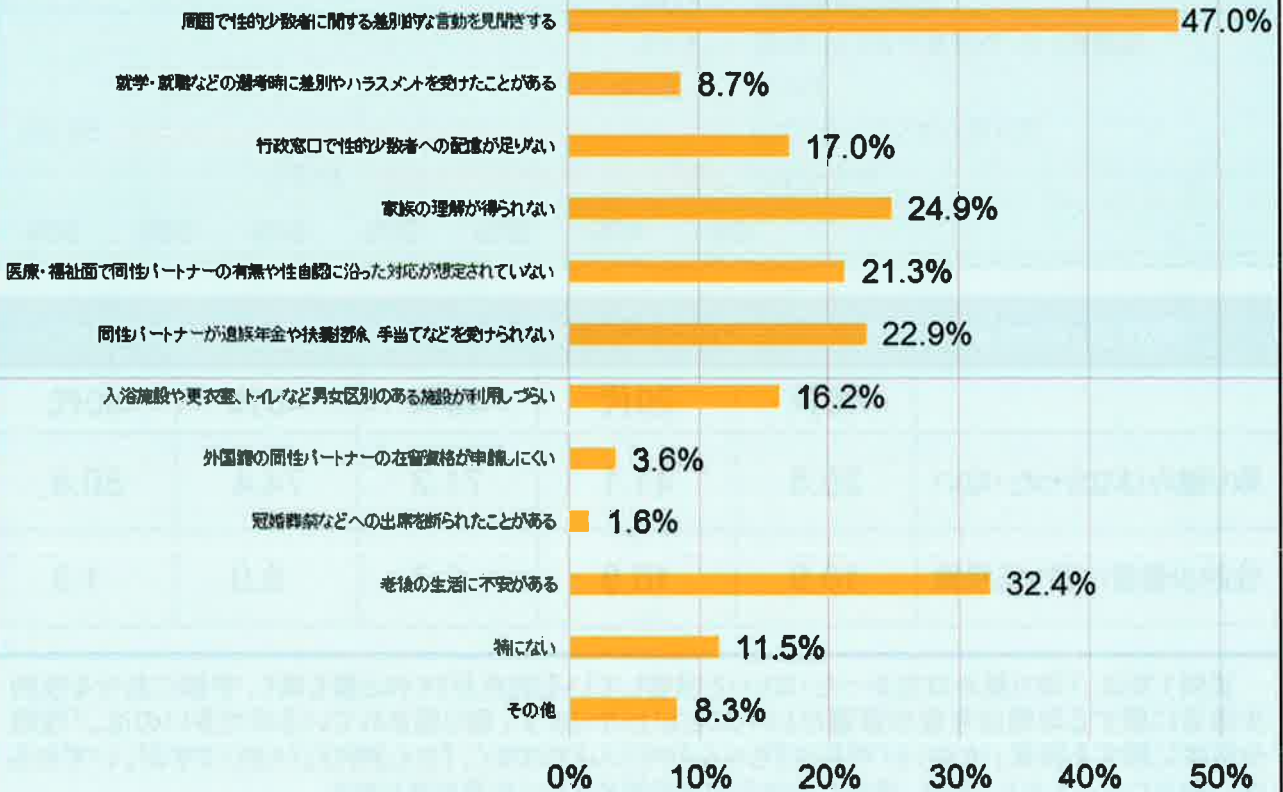
資料2からは、若い年代ほど、学校において何らかの取組がされていることがわかります。若い年代ほど、学校での取り組みがなかったと回答する人が少ない一つの要因として、性的少数者の人権に関する内容が連日のようにメディア等に取り上げられ、社会の関心が高まってきたことが学校教育にも反映されていると考えられます。

資料3: 県内の職場における性的少数者に関する取り組み状況



資料3では、「取り組みはない」と回答している割合が40.9%と最も高く、学校と同様に性的少数者に関する取組は今後の課題だということがわかります。取り組まれている中では、「性的少数者に関する研修」が17.1%と最も高くなっており、施設設備や制度等、改善のベースとなる研修を通じた知的理解に視点がおかれていると考えられます。

資料4: 当事者(性的少数者)本人の悩みや困りごと



資料4では、「周囲で性的少数者に関する差別的な言動を見聞きする」と回答している割合が47.0%と最も高いという結果から、自分のまわりには性的少数者はいないという思い込みや、性的少数者の悩みや困りごとに対する理解の不十分さが影響していることが読み取れます。

資料5：地域社会に望む取り組み



資料5は、選択回答ではなく、自由記述での回答を内容によって分類した結果です。回答の割合が最も高かった「教育・啓発」(25.4%)の主な内容は次のとおりです。

【取り組み要望の主な内容】

- ・理解促進のための冊子配付
- ・ハラスメントや偏見を除くための県広報番組等での解説
- ・興味のない人を理解させる取り組み
- ・行政職員及び教職員の研修
- ・子どもの時期からの学校における教育
- ・職場での研修
- ・医療機関への周知啓発
- ・高齢者層への周知啓発

自由記述にも関わらず、地域社会に望む取り組みで、最も多い回答内容が「教育・啓発」でした。

また、県が行っている「人権に関する県民意識調査(平成28年3月)」の中で、「人権尊重社会を実現するためには、どんなことに力を入れていけばよいか」という質問に対し、「学校での人権教育の充実」が66.3%で最も高く、次いで「地域社会での人権教育の充実」という結果になっています。

これらの結果から、社会にはさまざまな人権課題が存在する中で、その解決のために教育が必要だという考えを多くの人々がもっていることがわかります。

私たちはお互いを理解しあい、誰もが自分らしく生きていける社会をつつていくために、学校教育、社会教育と学びを続けていく必要があります。

※本調査は、回答者を無作為に選び、回答を依頼したものではなく、県ホームページへの掲載やポスター提示、チラシ配置等による周知のほか、調査委託先の性的少数者支援団体の各種活動への参加者やその知人の方へ周知を行い、調査対象者であれば、どなたでも回答できるものとしています。そのため、各セクシュアリティ分類の回答者割合並びに各質問の回答割合は、県民全体の傾向と捉えることはできないことに留意する必要があることをご了承ください。



県人権教育・啓発センターだより

来て、見て、読んで、学ぼう！

◆図書・ビデオの貸出(無料)

- 県内在住の方または県内に通勤・通学されている方へ、貸出申込により貸出ができます。

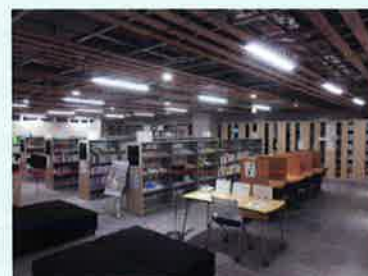
※ビデオ・・・1回につき5本まで

書 籍・・・1回につき8冊まで

期 間・・・2週間以内



ライブラリーコーナー



1階行政資料閲覧エリア

◆1階協働エリア・会議室の貸出(無料)

- 団体やグループで人権に関する会議や研修を行う場合に利用できます。

※利用の際には、事前に当センターへ電話等にてお申込みください。

新しく入荷した図書とDVDを紹介します。

《図 書》「タイトル」(著者/出版社)

- ・「差別はいけないとみんないうけれど。」(綿野恵太 著/平凡社)
- ・「トランスジェンダーと職場環境ハトブック誰もが働きやすい職場づくり」
(東優子・虹色ダイバーシティ・ReBit 著/日本能率協会マネジメントセンター)
- ・「LGBTサポートブック学校・病院で必ず役立つ」(はたちさこ・藤井ひろみ・桂木祥子編著/保育社)
- ・「カミングアウト」(砂川秀樹 著/朝日新書)
- ・「弟の夫 1～4巻」(田亀 源五郎/著)
- ・「そらいろフラッター1～3巻」(おくら 原作/橋井こま 作画/ガガコミックスJOKER)
- ・「しまなみ誰ぞ彼 1～4巻」(鎌谷悠希 著/小学館)
- ・「学校の当たり前をやめた。」(工藤勇一 著/時事通信社)
- ・「担任・教室のお悩み解消 なんでも相談12ヵ月」(土田光子 著/解放出版社)
- ・「だけど だいじょうぶ 特別支援の現場から」(農中茂徳 著/石風社)
- ・「いじめ防止のチェックポイント その考え方と活用方法」(国民教育文化総合研究所 編著/アドバンテージサーバー)
- ・「わたし 出会い 発見 Part9」(大阪府人権教育研究協議会/編)

《DVD》「タイトル」(テーマ/対象/時間)

- ・「みんなで考えるLGBTs①いろいろな性～好きになる性～」(LGBTs/中学生から/23分)
- ・「みんなで考えるLGBTs②いろいろな性～心の性・表現する性～」(LGBTs/中学生から/19分)
- ・「みんなで考えるLGBTs③性的指向と性自認(解説編)」(LGBTs/中学生から/22分)
- ・「セクシュアル・ハラスメントの被害者にならないために」(セクシュアル・ハラスメント/中学生から/12分)
- ・「グレーゾーンのセクシャルハラスメント」(セクシュアル・ハラスメント/一般/23分)
- ・「お互いの本当が伝わる時 -障害者-」(障害者/一般/24分)
- ・「わからないから、確かめ合う -コミュニケーション-」(人権全般/一般/29分)

長崎県人権教育啓発センター

(県人権・同和对策課内)

〒850-8570

長崎市尾上町3-1 県庁内

TEL 095-826-2585 FAX 095-826-4874

開館：平日、土曜、日曜(午前9時～午後5時まで)

休館：祝日、振替休日、年末年始

長崎県人権・同和对策課

検索

